

「介護ビジネスの未来を創る」  
週刊 高齢者住宅新聞  
Elderly Press Newspaper

2023年(令和5年)  
2月22日  
第705号 (毎週水曜日発行)

(株) 高齢者住宅新聞社  
〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15  
☎03-3543-6852(編集部)  
発行人 網谷敏数  
年間購読料 23,100円(送料込・税込)  
ホームページ  
https://koureisha-jutaku.com

# 新卒採用 170名以上 リクルーターが就活伴走



関東を中心に介護付きホームなどを展開するアスパートナーズ(東京都千代田区)は、年間3、4棟の新規開設もあり、2019年より新卒採用を強化。総職員数約1510人の1割を超える人数を採用している。22年度入社は174名、23年度入社は180名の見込み。さらに24年度入社は220名を目標とする。これだけの新卒を採用するポイントには、学生一人ひとりに専任の担当者が付き、きめ細やかな支援をする「リクルーター制度」にある。

## アスパートナーズ

同社はIoTを積極的に取り入れ業務効率化を図り、生み出した



▲採用メンバーは計12名と手厚い配置。左から可知雅子氏、丸本弘基氏、齊藤萌氏、田邊有沙氏

時間では介護職が本来専念すべき入居者への個別ケアに注力している点が特色。IoT活用にはリーダー職を担ってもらうことも見据え採用している」と総務人事グループの可知雅子ゼネラルマネージャー。総職員のうち、新卒入社者率は56・6%で、現に会社を支えている。リーダーを任せたいからこそ、採用する人物像は「自分の意見も取り入れる、バランスのとれる人」。約9割が非福祉系学部出身で、主に大学、短大、専門から採用している。

中でもエージェントサービスからの採用は慎重に進める。専任するキャリアアドバイザー向けの会社説明会や施設見学を開催。学生に紹介しやすい資料や動画のツールなども提供し、情報共有を欠かさない。「キャリアアドバイザーに当社のファンになってもらい、マッチする学生にいかにかが鍵」と可知氏。特に同社が採用活動



▶他業界が揃う採用説明会にも積極的に参加

## 学生と信頼構築

吸収が早く、新しい発想を持つ若手を採用すべく、新卒採用に力を入れていく。「数年前にはリーダー職を担ってもらうことも見据え採用している」と総務人事グループの可知雅子ゼネラルマネージャー。総職員のうち、新卒入社者率は56・6%で、現に会社を支えている。リーダーを任せたいからこそ、採用する人物像は「自分の意見も取り入れる、バランスのとれる人」。約9割が非福祉系学部出身で、主に大学、短大、専門から採用している。

選考は▽エントリー▽会社説明会▽一次選考(グループ面接で書類選考はなし)▽適性検査・最終選考(個別面接)▽内々定、といったフローを進める。23年度入社総エントリー数は約3000以上。エントリー数を増やすべく、4社の就活ナビサイト、成果報酬型のエージェントサービス、合同説明会、ダイレクトスカウトサービスなど多数の新卒採用サービスを利用。学校への直接アプローチも強化している。

選考の遷移率とともに電話架電数なども目標値を定めて実行し、勉強会や面談のロールプレイングを重ね、学生と信頼関係を築く力を磨いている。

最近の学生の傾向としては「自分らしく」「プライベートを大事にしたい」と望む人が増えているという。だからこそ、「一求職者」として接するのではなく、リクルーターを通じて、ほかでもない、あなたを見てくれる。入社後も一人ひとりが自分らしくwell-beingであることを重視している」と可知氏。

WEB説明会の開催時には、施設とつながる生中継を実施。入居者と職員の様子などを見せながら、人と人とのつながりを大事にする現場の様子を、オンラインでも感じてもらう工夫をしている。

24年度入社に向けた策として、可知氏は「コロナ禍を通じたWEB説明会を今後も続けつつ、合同説明会を増やす、選考過程で施設見学を行うなど、対面で話す機会を一層強化する。学生にはより働きやすい環境を持ち就職を決めてほしい」と語る。ウィズコロナ社会での採用活動に挑戦していく考えだ。

において強みとするのは対面での説明会だ。1〜4月にかけて十数回の合同説明会に参加。1回につきブースの着席人数30名を目標に掲げる。「人と関わる究極の仕事」であるというメッセージを強調し、より多くの学生に興味を持ってもらうための「(可知氏)」。密に連絡重ねる面談ロープレも

エントリーした学生に対し、綿密なアプローチをしていくのが「リクルーター」だ。採用チームは全体で12名。現場上りで20代のリクルーターが、学生一人ひとりに専任として付き、就職活動を伴走する。そして電話・メール・LINEなどを通じて、各選考過程で

選考の遷移率とともに電話架電数なども目標値を定めて実行し、勉強会や面談のロールプレイングを重ね、学生と信頼関係を築く力を磨いている。

WEB説明会の開催時には、施設とつながる生中継を実施。入居者と職員の様子などを見せながら、人と人とのつながりを大事にする現場の様子を、オンラインでも感じてもらう工夫をしている。

24年度入社に向けた策として、可知氏は「コロナ禍を通じたWEB説明会を今後も続けつつ、合同説明会を増やす、選考過程で施設見学を行うなど、対面で話す機会を一層強化する。学生にはより働きやすい環境を持ち就職を決めてほしい」と語る。ウィズコロナ社会での採用活動に挑戦していく考えだ。

### 第1部 13時30分～14時20分(50分)



## 介護の生産性向上と保険外サービスの取り組み

～科学的介護の進展と実費サービスのトレンド～  
講師: 高齢者住宅新聞社 網谷敏数社長

### 第2部 14時20分～14時45分(25分)



## セントラルキッチン化で人手不足解消、コスト削減へ

～急速凍結機の製品紹介と導入成功事例・販売実績～  
講師: 古河産業 ライフサイエンス事業部  
メディカルビジネス部 河野天航氏  
ゼロカラ 営業本部営業課 大島俊氏



### 第3部 座談会 14時55分～15時45分(50分)

## 施設給食の業務効率化・コスト削減と保険外サービス

～第9期介護保険制度改定を乗り切る為のノウハウ～  
講師: ねこの手 伊藤亜記社長  
古河産業 ライフサイエンス事業部 メディカルビジネス部 河野天航氏  
高齢者住宅新聞社 網谷敏数社長



ZoomのURLは、開催日の1～2日前に、メールにてお送りいたします。  
※事前のお申込みが必要です。後日の配信はございません。  
本セミナーはオンラインで行うため、お申込み後に配信先URLをメールでお知らせします。メールの転用行為を禁止しています。複数名の参加を希望されるお申込者は、参加者毎のお申し込みをお願いいたします。満席になり次第締め切りをさせていただきます。(主催・共催会社の意向により同業者の聴講をお断りする場合があります。)

こちらから  
申込できます



お問い合わせ

主催: 株式会社高齢者住宅新聞社 TEL.03-3543-6852  
〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15  
共催: 古河産業

# 高齢者施設 給食運営 改善セミナー

## 急速凍結機、 セントラルキッチン導入 オンライン開催

# 3月23日(木)

13時30分～15時45分

参加費無料